

## 「脳損傷による後遺障害実態調査」の中間集計結果を発表 します。

3月20日(月)から実施している「脳損傷による後遺障害実態調査」は、9月20日(水)まで調査期間を延長して現在調査を続けています。

本日現在、273人の方から調査票をご提出いただいていますので、その集計状況を中間発表します。

引き続き、関係者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 1 実態調査の概要

脳損傷(脳内出血や脳梗塞等による脳血管障害、事故等による脳外傷など)による後遺障害をお持ちの方の実態やニーズを正確に把握し、今後の支援策の検討に資するために実施しています。

### 2 実態調査票の回収状況(本日現在)

回収数 273人

うち訪問調査希望者 125人(45.8%)

- ・ 年齢別では、40歳以上の方が約64%です。
- ・ 居所別では、在宅の方が約59%です。
- ・ 発症原因別では、外傷及び脳血管疾病による方が約81%を占めています。

なお、詳細は別紙「調査票回収内訳」をご覧ください。

### 3 訪問調査の実施

6月から訪問調査を承諾いただいている125人の方について、順次、現在のお住まいのご自宅や施設・病院等へお伺いし、個別具体的にお話しをお聞きしています。

若年脳損傷支援チーム

(事務局:社会部 commons福祉チーム、福祉健康政策チーム)

担当 松本有司、小山 隆、藤木秀明

電話 026-235-7114(直通)

026-232-0111(内線 2328)

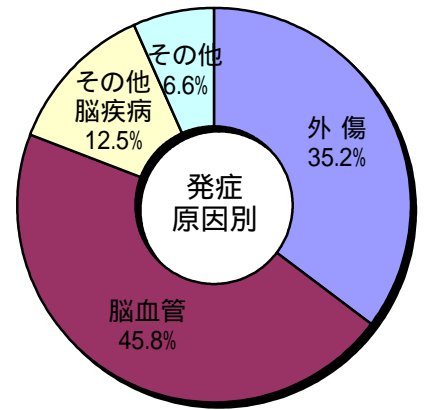
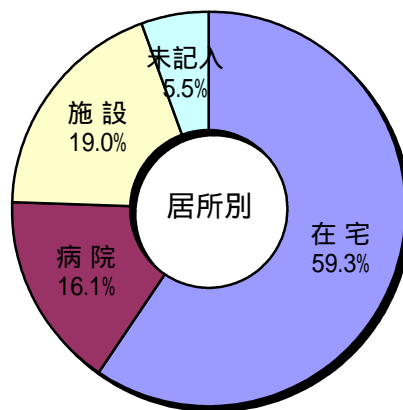
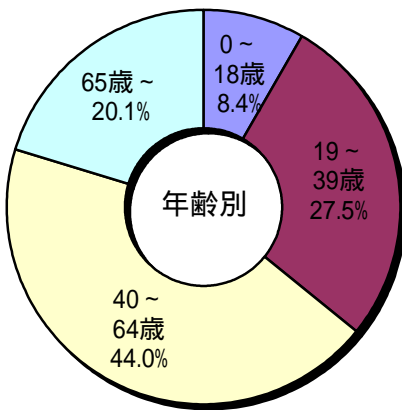
F A X 026-235-7485

E-mail [commons-fukushi@pref.nagano.jp](mailto:commons-fukushi@pref.nagano.jp)

# 脳損傷による後遺障害実態調査表 回収内訳

H18.6.12 現在

圏域	総数	年齢別				居所別				発症原因別				訪問希望
		0～18歳	19～39歳	40～64歳	65歳～	在宅	病院	施設	未記入	外傷	脳血管	その他脳疾病	その他	
佐久	37	4	12	13	8	19	4	12	2	14	13	8	2	13
上小	34	1	9	20	4	21	8	5		15	8	5	6	22
諏訪	19	3	7	3	6	12	5		2	3	10	4	2	9
上伊那	37	4	8	16	9	20	8	6	3	8	23	4	2	15
下伊那	21	3	9	6	3	17	3		1	11	7	2	1	15
木曾	12	1	2	7	2	9	2	1		8	4			5
松本	42	2	6	26	8	29	3	7	3	13	22	6	1	18
北安曇	8	1	1	5	1	6	2			3	3	1	1	3
長野	49	4	15	18	12	20	6	20	3	15	27	4	3	19
北信	9		1	6	2	7	1		1	3	6			4
県外	5		5			2	2	1		3	2			2
<b>計</b>	<b>273</b>	<b>23</b>	<b>75</b>	<b>120</b>	<b>55</b>	<b>162</b>	<b>44</b>	<b>52</b>	<b>15</b>	<b>96</b>	<b>125</b>	<b>34</b>	<b>18</b>	<b>125</b>



## 主な発症事由（例示）

脳外傷・・・脳挫傷（交通事故、転倒・転落等による）  
 脳血管・・・脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞  
 その他・・・脳炎、脳腫瘍、低酸素脳症、失語症、染色体異常、蘇生後脳症、脳性まひ